

梅本丁の歌碑

(伊達市開拓記念館正門付近)

表紙の写真説明



長い冬に耐え、春を待ちかねて咲く、蝦夷地の梅は美しく、花期も長い。苦むしてたくましい梅の本つ枝（幹となる枝）のように、したたかに生きよ。必ず満開の花が咲くのだからとの意味がこの歌に込められた。

現在の開拓記念館あたりは、茅が生い茂る湿地帯で、それが海の方角に向かつて広がり、再び戻ることもかなわぬふるさと亘理館を思わせる地形であったようだ。

本丁は、開拓の花を咲かせ幹となる枝となつた。

(昭和57年8月23日建立)

青柳丁の歌碑

(松ヶ枝町青柳線沿い)

右上の写真説明

冬がどんなに厳しかろうと、のどかな春は必ず戻つてくる。糸のように細い柳には、新緑の若葉が芽吹き、そよ風になびいている。

めげず、たゆまず、明るい明日に向かつて前進しようという、ほのぼのとした中にも強い意志を感じられる歌。

開拓当時からの家は残されてなく、青柳丁は歌碑の建つまわりから東に延び、清住道路までの小路だつた。

青柳線の西側は中小企業団地が造成された。

(昭和61年1月1日建立)

広報常任委員長
阿戸 孝之

お知らせ information

議会を傍聴しましょう

次回の定例会は、6月13日(火)から開催され、一般質問は6月19日(月)と20日(火)を予定しています。日程など詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

会議録の検索をご利用ください

議会のホームページから『会議録検索システム』をご利用いただけます。新聞報道などではわからない実際の議論を検索できます。

編集後記

「批判が欲しい」

人は誰しも批判されること嫌だろう。

しかし、この議会広報「みんなの市議会」は、

褒め言葉よりも批判を受けて洗練していくものだと思う。

「みんなの市議会」が大きく変わることになった視察においても、訪問先で種々指摘を受けたことが大きいし、そしてそれが変革の第一歩になり、制作のエネルギーになつたと感じる。

紙面づくりの最優先課題は、とにかく読んでもらうこととして、短い文章、やさしい表現にする努力をしてきたつもりである。もしかしたら議会の内容すべてが伝わらないかも知れないといふ恐れもあったが、読むのに勇気がいると言われたこの「みんなの市議会」を読んでもらえるように変えたつもりである。

今後も読者からのご意見を真摯に受け止め試行錯誤を重ね完成型を目指すのが、改革に手を付けた者の務めだと考える。

願わくば改選になる広報常任委員の一員として完成型の指針作りに携わりたいと思う。

読者からは、褒め言葉よりも前向きな批判の声を聞かせてほしいと切に願う。それが何よりも糧となるのだから・・・

